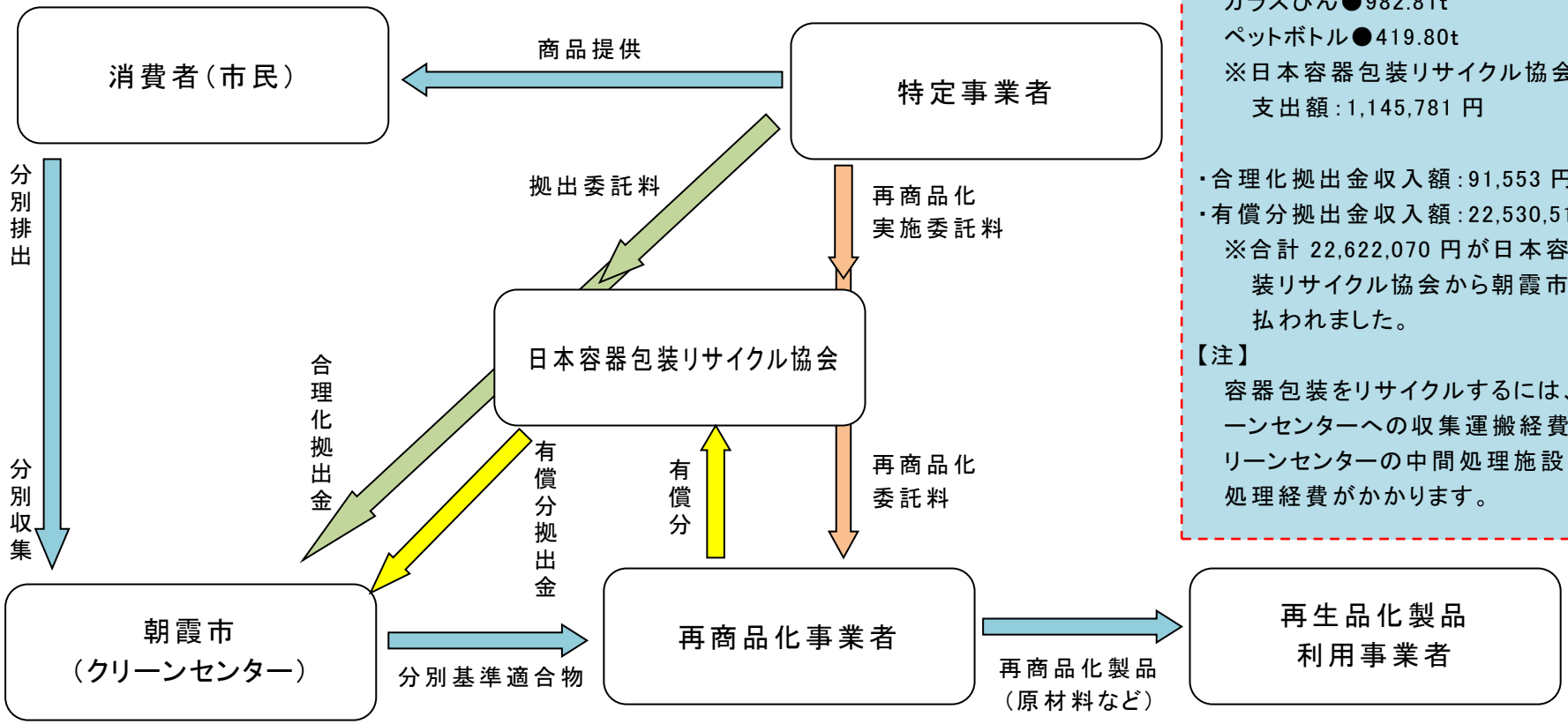
容器包装リサイクルのしくみ



朝霞市の実績（令和２年度）

・分別基準適合物排出量
　プラスチック製容器包装●552.48t
　ガラスびん●982.81t
　ペットボトル●419.80t
　※日本容器包装リサイクル協会への支出額：1,145,781 円

・合理化拠出金収入額：91,553 円
・有償分拠出金収入額：22,530,517 円
　※合計 22,622,070 円が日本容器包装リサイクル協会から朝霞市に支払われました。

【注】
　容器包装をリサイクルするには、クリーンセンターへの収集運搬経費とクリーンセンターの中間処理施設での処理経費がかかります。

用語解説
・特定事業者：「容器」「包装」を利用して中身を販売する事業者、「容器」を製造する事業者など
・再商品化事業者：分別基準適合物を運搬・再生加工し、新たな「資源」へと生まれ変わらせるリサイクル事業者
・日本容器包装リサイクル協会：容器包装リサイクル法により、特定事業者に課せられた再商品化義務の履行を代行する機関として設けられた公益財団法人